

令和3年度第2回地域学校協働活動推進委員会会議録

- 1 日 時 令和4年3月29日（火）午後1時から午後2時半まで
- 2 場 所 市議会第二委員会室
- 3 出席委員 上田委員長、松崎委員、内海委員、櫻井委員、塚越委員、大山委員、吉田委員（統括コーディネーター）、工藤委員、富田委員、高橋委員、小嶺委員、順不同
欠席委員 荒川委員
事務局 社会教育課瀧川係長、千葉主事、学校教育課佐々木係長、石谷地域学校連携支援マネージャー

4 議 題

- (1) コミュニティ・スクールについて
- (2) 本部及び各校の取組状況等について
- (3) その他

(資料)

- 資料1 狛江市のコミュニティ・スクール
～学校と地域の連携・協働の仕組づくり～
- 資料2 令和3年度（後期）地域学校協働活動報告
- 資料3 狛江市地域学校協働活動推進事業メニュー（各校実施）
- 資料4 令和4年度の地域学校協働活動の展開について（案）
- 資料5 各小中学校で活用可能な外部コンテンツ
- 資料6 令和3年度第1回地域学校協働活動推進委員会会議録

6 会議の結果

事務局より資料の説明

委員長

開かれた学校づくりを進めております中で、地域とともにあると学校ということで、地域学校協働活動推進事業とコミュニティ・スクールを両輪の輪として進めてまいりたいと考えております。地域コーディネーターの方には日々活動する中で感じた課題を検討し、市にも挙げていただければと思います。今の説明も踏まえてご意見を願います。

委員

今まで学校運営連絡協議会の方で、地域の方が入って学校づくりを行ってききましたが、今まで独自の制度で行っていたものが今度は情報や権限を持った形で法的位置づけを持つ会議体となるということです。地域との取り組みは今までも行っていますが、特に小中が連携した取り組みをさらに進めるためにも、コミュニティ・スクールを進めてまいりたいと思います。

委員

例えば、一中ゾーンで言いますと、例えば音楽を通した取り組みができる可能性があります。それから特別支援教育に関しても3校とも知的固定学級が設置されており小中が連携した取り組みが考えられます。そうしたゾーンの特色を出した活動を進めることを想定しています。

委員

コロナ禍の中ではありますが、令和3年度は前年度よりもやれることがかなり増えましたので、今後三中ゾーンとしての特色を出していけるとと思います。市全体でも子どもの体力向上が課題になってますが、そうした点も和泉小学校と連携してできる取り組みができたらいと思います。各校の伝統的なものは活かしながら、その地域全体として、方向性を持たせていけるように出来たらよいと思います。

委員

現在の運営連絡協議会でも年度末に学校評価を行っていたが、コミュニティ・スクールではゾーンの2校の3校の学校評価を行うことになるのでしょうか。

委員長

基本的な考え方はおっしゃるとおりです。コミュニティ・スクールの取組が進む中で、わが校の子どもから、わが地域（ゾーン）の子ども、将来的には狛江の子どもという視点を持っていただきたいと思っています。

委員

ゾーンのなかで評価項目も含めて決めていくことを想定しています。狛江市としてのスタンダードの評価を来年以降作り上げていくイメージです。

委員

実際に学校に行っ様子を見ないと学校評価は難しいと思います。会議はどこでおこなうのでしょうか。

委員

会議の回数は年2回以上を想定していますが、開催場所や回数は各学校で決めていくことを想定しています。

委員

市民活動をしている団体にとっては自分たちの活動が、学校の中にどのように活かせるのか、学校が何を求めているのかっていうのが分かりやすくなるのかなと思います。

委員

コミュニティ・スクールが関与する学校運営の範囲は、どのような範囲を想定していますか。

事務局

コミュニティ・スクールを導入にするにあたって学校運営にどこまで関与していただくというのは、他市でも課題とされている部分です。狛江市では、学校の基本的な方針や教育課程に関することに関して承認をいただくことを考えておりますが、人事の部分については範囲に含めないように、学校運営に支障が出ないように制度を組み立てています。

委員

小中連携については、教育課程についてもリンクさせていくことを考えています。

事務局

制度を検討するなかで、三鷹市、世田谷区等、コミュニティスクールを先進的に行っている学校を調べました。例えば、世田谷区は各学校に学校運営協議会があります。三鷹市はその学校運営協議会の委員の人たちの一部の人が部会の様な形で学校評価を担っています。現状としては、狛江市でこうしてくださいということはあえて出していません。進めていく中で形が決まっていくと思います。

(2) 本部及び各校の取組状況等について

事務局から資料に基づき説明

動画の視聴

大山委員から社会福祉協議会作成の動画について説明

委員長

動画は実際に授業で利用されていますか。

事務局

学校への紹介は行いましたが、まだ授業では使われた事例はないようなので、引き続き進めていきます。作成途中のものは2学期の完成を目指しています。

委員

社会福祉会作成の動画については、昨年度も今年度も学校の授業で利用していたています。市外や海外からの問合せもあります。特にユニバーサルデザインの部分動画が見られているようです。多摩川水害の動画当時の小学校の校長先生からお話があったことが作成のきっかけになりました。

(3) その他

次回の委員会は10月で、上半期の取り組みを報告する予定